



だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2010. 2. 9)

野村 のむら ようこ 羊子

三鷹市議会議員 (会派 にじ色のつばさ)

議会報告no.31

■ 3月議会予定

- 2月26日(金) 本会議 (一般質問)
※第1回請願・陳情締め切り (午後5時まで)
- 3月1日(月) 本会議 (一般質問)
野村の登壇は午前の予定
- 2日(火) 本会議 (議案上程、施政方針・当初予算上程)
- 5日(金) 本会議 (議案・請願等審議、予算代表質疑)
- 8日(月)～10日(水) 常任委員会
- 11日(木)、12日(金) 予算委員会
- 15日(月)～18日(木) 予算委員会
- 19日(金) 調布基地跡地利用対策特別委員会
- 23日(火) 東京外郭環状道路調査対策特別委員会
※第2回請願・陳情締め切り (正午まで)
- 29日(月) 本会議 (予算委員会審査報告、議案等審議)

★予算特別委員会は、会派の人数によって7～9名を割り振る。昨年9月の決算特別委員会は、政新(自民)3、公明2、民主・共産・にじ各1の8名。質疑時間は委員一人当たり答弁を含めて20分。会派内融通ありのため、複数委員の会派は有利。



■ 予算概要

三鷹市の2010年度の予算総額は昨年より33億円多い640億円。

しかし、市税収入は20億円マイナスで、歳入に占める割合が58%から52%にダウン。自前の収入は半分ちょっとしかない状況となった。これは過去15年間で最低の割合。

不足分を補っているのは国と都からの支出金。子ども手当新設などで30億増。さらに、基金(貯金)を40億取崩した。市債発行額(借金)は、3.5億増の41億。結果的に、1990年、97年に次ぐ大型予算総額。将来を見すえたとき、このようないわば水ぶくれ的な財政で大丈夫なのか不安。3月議会の予算審議で解明なるか。

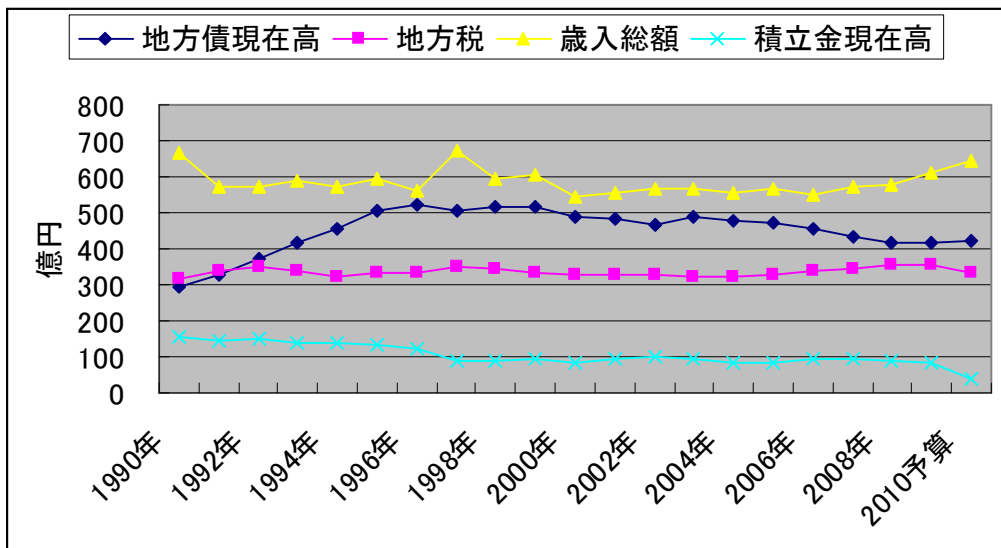
*1; 地方債現在高(借金残高)は繰上償還などで返済してきたため減少傾向でしたが、ここで反転。

*2; 地方税(市税収入総額)は、人口増と固定資産税増でここ数年上昇傾向だったが減少へ。今後ともマイナス傾向は続きそう。(09、10年度は予測値)

*3; 歳入総額(予算総額)は、90年と97年を除きほぼ横ばいだったが、昨年から上昇傾向へ。国

からの支出金の増加が主な要因だが、国の歳入のうち税収(実質収入)は、4割弱。補助金を取りやすい事業よりも本当に必要な事業かどうかを仕分けていく必要があるのでは?

*4; 積立金現在高(基金=貯金残高)は、バブルがはじけた後、100億を切っていましたが、ここで一気に減少。(2009年度、2010年度は推定予測値)



■ <議会は変わるか・in三鷹>



2/6 にじ色のつばさでは公開研修を行いました。

講師は廣瀬克哉さん（法政大学法学部教授）、亀谷二男さん（中央大学経済学部特任助教）、高井章博さん（元三鷹市議会議員）。

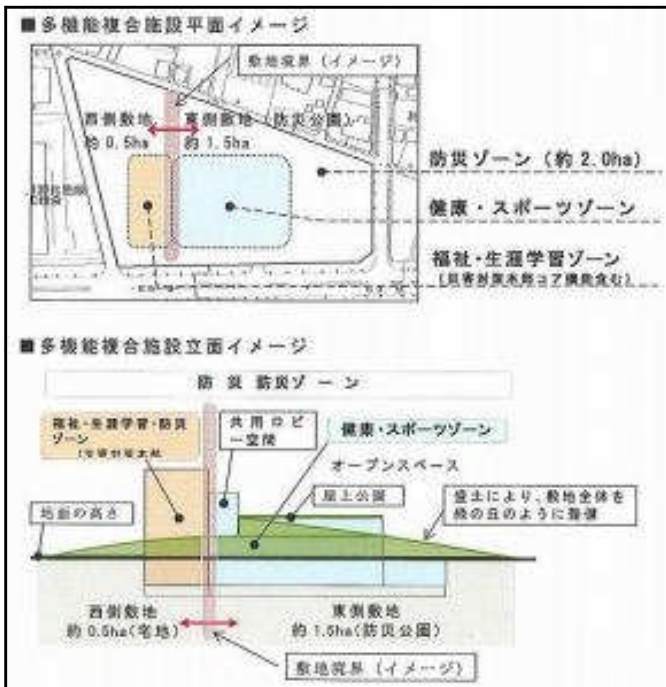


議会改革は、第2ステージへ。議会は行政のチェック機関であり、透明性の高い機関であるべきとして、議員定数の見直しや政務調査費の公表は当然。三鷹の市議会もここまでは改革済み。その次は、議員の役割・仕事を市民に伝えていく、市長+行政に対して議会として意思決定した政策提言をする、という点はまだまだ。

議会は、民主主義のあるべき形として、つねに市民との対話をもとに、多様な価値観を持つ市民の代表として議員同士が自由に議論をし、意見をすり合わせ、あるいは折り合わせていく。市民の納得のいく政策提言をはじめ、議決をしていく。市民参加をしていかなければ、議会として終わりだという。「追認」「追求」だけではない政策提言としての一般質問のあり方も含め、議論していきたい。



■ 「市民センター周辺地区整備基本プラン（案）」へのパブリックコメント募集



集中。2/7の広報みたか6~7頁にあらましと、HPに資料を掲載中。それによると、概算事業費は127億円（健康・スポーツ施設77億円+福祉・生涯学習施設25億円+防災公園整備その他25億円）+用地代。かつて凍結された総合スポーツセンター構想そのままの規模に、集約対象の残りの5施設の現状規模全てをプラスした大型施設建設計画。

- 用地代は幾らか（路線価からの推定50億）？
- 近隣に学校・グラウンドがあるのに防災公園？
- 1500の観客席のあるアリーナが本当に必要？
- 競技会開催が可能な武道場（柔道+剣道+弓道）全てが必要？稼働率の見込みは？
- 維持管理・修繕・運営費のコストはいくらか？
- 斜面の防災公園の災害時の使い勝手は？
- 国からの補助金は本当にお得なの？
- 割賦償還で毎年少しずつ買い戻して

も、最終的に利子も含めて返済するのだから、後年度負担の重さは同じでは？

疑問がいっぱいのプラン。持続可能な社会に身の丈にあった公共施設のあり方を考えたい。



■ 外環オープンハウス

1/30の北野常設会場、2/2の調布市緑ヶ丘地域福祉センター。2カ所のオープンハウスにでかけ、

国交省の担当者に質問をしてみた。壁いっぱいパネルだが、この間知りたいと質問してきた答えはない。

● 外環ができると30万tのCO2が削減？その根拠は？中央JCTの工事中やその後のCO2増加量は？

● 渋滞緩和、最新のデータで交通量予測しているのか？因果関係のないパネルは税金のムダでは？

今調査中のデータを、特に地質調査について「わかりやすく」ではなく、きちんと公開して欲しいと要望。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会 No.31
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
野村羊子は、議会では会派「にじ色のつばさ」、日常は市民グループ「いっしょの会」とともに活動しています。市政についていっしょに考えていきましょう。